

HIC 通信

Hiroshima International Center

Vol. 88
April 2015

雪生活体験を開催しました

2月1日(日)、「雪生活体験」を山県郡北広島町の美和東ふるさと振興協議会と共催で開催しました。多数の応募より選ばれた11カ国44名の在広外国人に参加いただき、同溝口地区の方々と交流を深めました。

本年は天候・グラウンドコンディションに恵まれ、参加者は思う存分雪遊びを楽しむことができたようです。また、地元料理と外国料理を囲んだ交流会や地元芸能、外国芸能も実施しました。



交流会では、外国人参加者有志の方から、揚げ春巻き(ベトナム)、コーンフリッター(南アフリカ)、牛肉麺(台湾)などのお国料理をふるまっていただきました。

地元芸能では、日本舞踊、銭太鼓、神楽鑑賞などを行ない、参加者にとってはとても興味深かったようです。また、外国芸能では、ベトナム衣装の紹介や二胡演奏などを行ない、盛大に盛り上がりました。

◆ 目次

2面	交流部だより
4面	留学生活支援センター
5面	国際プラザニュース
8面	こちらJICAデスク

9面	Upcoming Events News
10面	サミット加盟団体だより
11面	Hello Hiroshima
12面	Hiroshima Calendar ほか

ひろしまグローバル人材養成講座「地球の食卓」、「貿易ゲーム」を開催しました

地球の食卓

2月15日、講師に開発教育協会の八木様をお迎えしてワークショップ「地球の食卓」を開催しました。食を通して世界を知り、自分自身の行動を振り返るワークショップとなりました。また5カ国の外国出身者6名がスタッフとして入り、多様な価値観をより肌で感じることができ、活気あふれる講座となりました。



貿易ゲーム

2月21日、講師に県立広島大学 富田和広 教授をお迎えしてワークショップ「貿易ゲーム」を開催しました。条件の異なるグループを作り、貿易ゲームを進めて行くことで、和やかな雰囲気ながらも対立関係が発生し、合意形成の難しさを実感することになりました。またゲーム終了後の振り返りにおいては、立場の異なる相手の思いを知り、対立管理のヒントを得ることが出来ました。



「ワンペア日本語学習支援ボランティア講座」を開催しました

3月7日、当センター研修部 専任日本語講師 黒田 類を講師とする「ワンペア日本語学習支援講座」を開催しました。日本語学習支援講座は毎年、開催していますが、本年度はワンペア日本語学習支援に焦点をあて、ワークショップ形式で参加者同志が交流を深めながら進める講座を行いました。参加者の皆様については、ボランティア未経験者から、ボランティア歴20年以上の方など様々な経歴の方にご参加いただき、活発な意見交換の場となりました。今後の有効な日本語学習支援につながる意義ある講座となりました。



HUG（避難所運営ゲーム）を開催しました

HUG(避難所運営ゲーム)を2月27日(金)に行いました。

HUGとは、災害時の避難所の運営を模擬体験するゲームで、静岡県が開発。避難所 Hinanjiyo, 運営 Unei, ゲーム Gameの頭文字をとり、英語で抱きしめるという意味で、避難者を優しく受け入れるイメージを持たせてあります。

多文化共生や危機管理を担当する行政職員に加え、一般にも公開し、8つの国・地域にルーツのある人や留学生等の外国人住民も参加して行いました。

静岡県地震防災センターのインストラクター片井 賢一さんから災害時の避難所の様子やゲームのしかたを学んだ後、グループでゲームが始まりました。各グループには1～2名の外国人住民が参加し、様々な事情を抱えて次々に避難してくる避難者に対応し、避難所で起こる出来事にどう対処するか、互いに意見を交わしながら考えました。

ふりかえりでは、「絶えず避難者がやってきてとても混乱した。」「外国人避難者を別室に集めたが、適切な判断だったのか自信がない。」等の感想があり、後者についての外国人住民からの返答として、「ことばが同じ人が側にいると安心するから、別の部屋の方がよい。」、また反対に「日本語が分かる人は、みんなと同じ場所(体育館)でも大丈夫。」という意見が出ました。また、外国人住民からは、「全然ついていけなくて困った。」との声のほか、「(災害後の混乱時の情報伝達で)多言語化は難しくても、サイン(記号・標識)や、やさしい日本語があれば伝わる。」や「得意な分野では、日本人と同じように役割を担いたい。」との提案がありました。

災害発生時に、援助を必要とする対象としての外国人住民という捉え方だけでなく、地域の担い手として共に助け合うことを考えるきっかけづくりになりました。



「企業・留学生交流サロン」開催

今年度の第2回目を、2月16日(月)、広島経済同友会様との共同企画により広島商工会議所内で開催しました。(株)メンテックワールド、ツネイシホールディングス(株)様による事例発表と、外国人留学生(19名)と同友会会員(27名)の皆様の参加による懇親会は、留学生にとって県内の企業経営者の方々と直にお話しできる貴重な場となったようです。参加された企業の方々からも、継続開催を希望するとの声が聞かれ、次年度の各支援事業に向けての大きな励みとなりました。



「留学生合同企業説明会」

3月5日(木)、広島市留学生会館において「留学生合同企業説明会」を開催しました。今回は、新卒採用のスケジュールが変更されたこともあり、各企業様からの出展申込みは早い段階で予定数に達し、また、初めての参加も7社ありました。

当日は、広島県内および県外の大学・専門学校等から、中国・ベトナム・韓国等から123名の留学生が参加。まだ場慣れしていない学生も多く、企業ガイドブックを手に企業ブースを訪問する光景が新鮮でした。会場内に設置した相談コーナーを訪問し、キャリア相談や在留資格等について真剣に質問をする留学生もいて、“就活本番”への緊張感が漂っていました。



ひろしま留学大使のご紹介

「ひろしま留学大使」は、広島県内の大学・専門学校の留学生20名で組成され、広島の魅力、留学生活などをフェイスブックで世界に発信しています。平成26年度より活動を始めました。メンバーのひとりとして活躍する福山大学の呂琳さんに留学大使の活動について感想を寄せていただきました。

私は中国からの留学生の呂琳です。編入生として残りの二年間の大学生活は広島の福山大学で送る予定です。昨年からはひろしま留学大使になり、広島県留生活支援センターのおかげで、たくさんの面白くて素晴らしいイベントに参加しました。日本の国技「相撲」、雅楽などの伝統文化を体験することはもちろん、広島の誇りとしてのカープ野球試合やサッカーのサンフレッチェ試合、地元のみなさんと一緒に「雪生活体験」、地元企業の見学も体験しました。それらのイベントを記事にすることで、みんなに広島の素晴らしさを伝えています。私も今の時点で11つの記事を書きました！実は、留学生活は想像したほど楽ではありませんでした。家族と離れ、外国人として異国でのカルチャーショックなどのため、泣いたことも何回もあります。でも、これこそ留学生活です。喜び、興奮、落ち込み、不安のなかで毎日の留学生活を送る私たちは、やはり精一杯自分で外国文化を発見したいです。日本の伝統的な文化が好きな私も留学する前、「できるだけ日本文化を体験したい！」と決めました。留学生活はまもなく一年間経ちますが、留学大使になったおかげで、自分の頭にたくさんの素晴らしい思い出を残せました。今広島は私にとって「第二の故郷」とも言えます。いつか留学生活の終わり、サヨナラの日が来ると、きっと恋しくなるでしょう。

【ひろしま留学大使FBページ<https://www.facebook.com/hsaa2014>】



草の根国際協力助成金交付事業のご案内

民間レベルの自発的な国際協力活動を推進するため、ひろしま国際センター研修部では、民間の非営利団体が実施する国際協力活動に対して、事業費の一部を助成しています。



【対象となる事業】

(1)国際協力の担い手を育成する事業（第1号事業）

民間レベルで国際協力活動を行う団体に活動する人材を育成する目的で、広島県内で実施される事業

例：講演会、シンポジウム、体験活動、調査、フォーラム、セミナー等

(2)開発途上の国や地域での国際協力事業（第2号事業）

福祉・医療、環境、教育、産業技術等の分野で、開発途上の国や地域で行われる事業

【助成金額】

対象事業	助成額	助成限度額	助成回数
国際協力の担い手を育成する事業	対象経費の50%以内	1,000千円	1会計年度1回限り
開発途上の国や地域での国際協力事業	対象経費の50%以内	2,000千円	

※平成26年度は5つの団体に対して、合計3,248,345円の助成を行いました。

平成27年度が、被爆70周年であることを踏まえ、国際平和推進の機運をより高めるために、国際協力の担い手を育成する事業の助成限度額の拡充等を行います。どうぞご応募ください。

事業の詳細に関する情報は当センターのホームページをご覧ください。<http://hiroshima-hip.or.jp/>

【助成採択団体の声】

インド西ベンガル州 子どもたちのシェルター事業

特定非営利活動法人IMAGINUS 代表 高橋大海

私たちが、インド西ベンガル州の国境地帯の要所NJP駅を最初に訪れたのは2012年、そこには沢山の駅で生活する子どもたちがいました。近隣の村で教育事業を行っていたので、いつもその子どもたちの目の前を通り過ぎるばかりでした。この駅には年間600人を超える子どもたちがインド全域、隣国から、家庭の問題や児童労働、人身売買などから逃れて辿りついていました。

この度、草の根助成金を受けて、ようやくこの子どもたち、特に女の子たちの生活保護、教育支援のための事業をスタートすることが出来ました。駅に辿りつく子どもたちの中で、これまで対象とされていなかった、18歳までの女の子に、眠る場所、食べ物、医療、教育、心理カウンセリングを提供するシェルターを提供するプロジェクトです。

ここに至るまで、幾度も現地へ足を運び、ニーズ調査、子どもたちの支援をするNGOの選定、連携強化、シェルター候補地の決定、そして、プロジェクトの契約と、2年を要しました。今後、3月にはシェルターの建設が完了し、スタッフや教師が配置され開所式が行われる予定です。広島からは当法人の専門家が現地へ派遣され、最初のモニタリングが行われます。早く子どもたちの元気な声が聞こえ、一人でも多くの女の子が厳しい環境から脱するきっかけを生み出したいです。



【左図】駅隣で既に運営されている他の少年用シェルターを視察する様子



【右図】少女用シェルター建設予定地

ひろしま国際プラザ 情報センター・図書室のご案内

2012年から一般貸出を始めた、東広島にある穴場の図書室です。
緑豊かな静かな環境で、読書や自習ができます。
それでは、情報センター・図書室の10の特徴をご紹介します。

①国際色豊かな図書や雑誌が充実

日本語や英語はもちろん、韓国語、日本語、スペイン語、インドネシア語、フランス語等の雑誌や図書がそろっています。また、国際協力や国際教育関係の資料も豊富です。

②語学雑誌（CD付）も豊富

英語は「CNN ENGLISH EXPRESS」と「週刊ST」を、中国語は「聴く中国語」を、日本語は「ひらがなTimes」を貸出しています。

③バイリンガルの絵本やマンガもあるので、赤ちゃんや子供に大好評

絵本は、日本語はもちろん、CD付外国語もあり、よみかかせにピッタリ。マンガは、「ドラえもん」から「進撃の巨人」まで幅広い品揃えです。

④CDやDVDの無料貸出しもしています

CDは、童謡、アニメ、演歌、世界の音楽など多種多彩です。
DVDは、レンタルビデオにはないような映画があります。例えば、「ルアーブルの靴磨き」、「おじいさんと草原の小学校」等、各国の歴史や文化を映画を通して感じませんか？

⑤誰でも参加可能な折紙教室は、子供や外国の研修員に人気

⑥自習ができます

⑦無料Wi-Fi利用可能。しかもパソコン用電源があります

⑧NGO交流室は、ミーティングや語学学習等の場所として、どなたでも無料で利用可能

NGOグループや語学グループ等が利用されています。
営利目的、宗教・政治活動を目的とした利用はできません。
団体のみ予約が可能です。

⑨体育館は、当施設に宿泊する研修員と一緒に無料で利用可能（要予約）

⑩月曜も開いています

一般の皆さまは、5点まで2週間借りることができます。
初めて借りるときは、本人確認ができるもの（保険証、免許証、学生証など）が必要です。詳しくは、情報センター＆図書室（TEL.082-421-5755）まで、ご連絡ください。

■平日 10:30～19:00（12:30～13:30 一時閉室）

■土曜・祝日 10:30～19:00 ※日曜休室



「広島県海外日本語教師養成研修」参加者の声

1月から2月、ひろしま国際プラザに広島県海外日本語教師養成研修(韓国)の参加者が滞在していました。この研修は、韓国の中学校・高校で日本語を教えている先生たちが対象です。7週間の研修期間中、授業をより良くするための方法を考えたり、広島県をよく知り、留学を考えている生徒に広島のことを薦めてもらうための情報を集めてもらったりします。

今年は4名の参加者ですが、その中のおひとり、裴 賢娒さん(ペ ヒョンアさん：写真右から2番目)に研修の感想をうかがいました。

私が韓国教師養成研修に参加して一番よかったのは、ロビーイベントや日本文化体験で世界各国の人達と出会えたことです。お互いに言葉は通じなかったのですが、イベントや日本文化体験を通して少しでも話し合いながら、一緒に楽しみました。特に、琴と南京玉すだれのロビーイベントの際には、個人的に今まで体験したことがなかった日本文化だったので、直接体験してみる時間が与えられてとてもよかったと思いました。

ある文化について、違う国の人々と共感したり、あるいは違う意見を聞いたりしたことはめったにない貴重な経験だと思います。帰国して、いくら長い時間が経っても世界各国の人が笑顔と明るい顔で挨拶をしてくれたのは忘れられないでしょう。

いつかどこかでまた会いましょう！

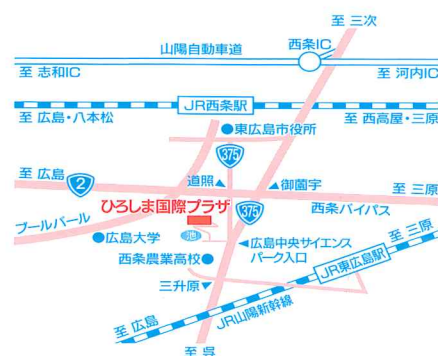
裴 賢娒【ペ ヒョンア】



呉市下蒲刈町

★研修のお問合せ先はこちら

公益財団法人ひろしま国際センター研修部
〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
(電話 082-421-5900 FAX 082-421-5751)
・事務室開室時間 月～金 9:00～17:45
・情報センター・図書室開室時間(4月より開室時間が変わりました)
月～金10:30～12:30, 13:30～19:00(12:30～13:30は一時閉室)
土10:30～19:00 ※毎週日曜日と年末年始はお休みします。
・NGO交流室 開室時間 月～土10:30～19:00
URL: <http://hiroshima-hip.or.jp>
E-mail: hicc@hiroshima-ic.or.jp (事務室)
hiccinfo@hiroshima-ic.or.jp (情報センター・図書室)



広島から世界へ！ 3月下旬より、広島県出身のJICAボランティア8名が
ベナン、モロッコ、グアテマラなど8カ国へ向けて出発します！



《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

田曾 友来	ベトナム	日本語教育
山本 結生	ネパール	コミュニティ開発
中本 彩希子	モロッコ	コミュニティ開発
田口 実佳	ウズベキスタン	保健師
加藤 弘美	カンボジア	観光
吉岡 あゆみ	インドネシア	栄養士
川端 俊介	ベナン	コミュニティ開発
岡本 光恵	グアテマラ	助産師

現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	17	30	47
シニア海外ボランティア	5	1	6
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	0	0

平成27年2月28日時点



1965年に青年海外協力隊の初代隊員がラオスに飛び立ってから、今年で50周年。
これまでに4万名以上が世界96か国でJICAボランティアとして活動し、
広島からも約1,000名が派遣されました。

《帰国隊員 麓 美奈さんの、エチオピア活動紹介です！》

麓 美奈さんプロフィール

- ・尾道市出身。
- ・広島大学理学部卒業。広島県警察一般職員として6年間勤務した後、青年海外協力隊に参加。
- ・2011年6月から2年間「理数科教師」隊員としてエチオピアの小学校で活動。帰国後復職。

青年海外協力隊参加のきっかけは！？

日常の多忙な生活に追われて一生を送るのに疑問を持ち、働き盛りに労働だけで心身をすり減らすのではなく、長い目で見て自分の能力開発に再投資するゆとりを持ちたいと思い、参加しました。

エチオピアってこんなところ！

古い文明を持ち、独自の文字を持つアフリカ唯一の国。植民地支配されたこともなく、個性全開！

80以上の民族が暮らし、言語も多数。日本人が良くイメージする「真っ黒な黒人」というより、歴史的経緯からアラブの血が混ざった茶褐色の肌の色をしています。そして、エチオピア人は美男美女が多いといわれています！

エチオピアでの活動内容は？

小学校で、通常の理科の授業や、身近なもので出来る理科の実験授業を行いました。また、エチオピアでは理科授業で実験を取り入れることが非常に少ないことが課題となっていたため、州の教育局と協同し、他の理数科教師隊員と共に、生物・化学・物理・数学の教員向けの実験セミナーの開催や、付近の小学校を巡回しての「実験ショー」などを行いました。

青年海外協力隊に参加して思うこと

メディアを通して日本に入ってくる途上国の情報は少し偏っていると感じました。例えばアフリカの国々については「貧困」「疫病」「紛争」などのイメージが強いですが、実際のところ、それらは多くの人たちからは縁遠いものです。現地の人々はたとえ経済的には恵まれていなくても、風土に根ざした、精神的にも物質的にも豊かな暮らしを昔から営んできたのだということを知りました。これからの時代、どこにいてもどんな職業についたとしても、世界のために考えをめぐらせ、行動できる人間が絶対に必要だと感じました。

エチオピア連邦民主共和国

通称エチオピアは、北から時計回りにエリトリア、ジブチ、ソマリア、ケニア、南スーダン、スーダンに囲まれた内陸国である。

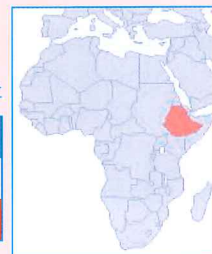
【概要】

面積：109万7,000km²(日本の約3倍)

人口：約9,173万人(2013年)

首都：アディスアベバ

公用語：アムハラ語



エチオピア人ってどんな人！？

エチオピア人は日本人と似ていて、遠慮がちで恥ずかしがり屋な印象を受けます。でもとても親切で周りに困っている人があると声をかけずにはいられない人たち。街で困ったような顔をしておうろうろしていると必ず周りの人が「どうしたの？」と声をかけてくれます。乗っていた車がぬかるみにはまって動けなくなった時、どこからともなく子どもからお年寄りまで大勢の人がやってきて、車を動かすのを手伝ってくれました。総勢20名はいたでしょうか。私は最後にお金を要求されるのではないかとヒヤヒヤしていましたが、とびきりの笑顔で「よい旅を！」と見送ってくれ、そんなことを考えていた自分が恥ずかしくなりました。笑顔で「こんにちば」とアムハラ語で声をかけると、必ず相手も笑顔で「あらー！あなたアムハラ語パーフェクトね！」と答えてくれ、そこから世間話が始まり、しまいには夕食に呼ばれたりします。学校の同僚や大家さんなど、一度打ち解けた人は、みんなとても気にしてくれおせっかいなほどです。用事がなくても毎日部屋に顔を出してくれるし、お祭りや結婚式、さらには友達との誕生日会にまで呼ばれたりします笑！



エチオピアの女性



実験ショーの様子

【平成27年度春募集JICAボランティア:4/1から5/11まで募集中!】

募集期間中に、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアなどの制度説明や経験者の体験談が聞ける、JICAボランティア「説明会＆体験談」を開催します。参加無料・予約不要・入退出自由で個別相談もありますので、ぜひお気軽にお越しください！

*詳しくはウェブサイトへ→「JICAボランティア」で検索！！

「説明会＆体験談」
広島県での開催日程はこちら

広島市：4/9（木）・4/18（土）

福山市：4/15（水） 呉市：4/19（日）

東広島市：4/23（木）

*青年海外協力隊のみ



1000を超える仕事、
世界約70ヶ国から、
いま必要とされている。

青年海外協力隊 シニア海外ボランティア

春募集
体験談
&
説明会

応募受付期間

4/1 ▶ 5/11

詳しくはウェブサイトへ

JICAボランティア

検索



Upcoming Events News

No.132

平成27(2015)年5月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内容
9日 (土)	「第4回中日文化講演会」広島県華僑華人総会 広島修道大学 王 偉彬教授による『戦後日中関係70周年の歩み』という題の講演会。戦後の日中関係をどう見るべきか。これからの日中関係はどう変わっていくのだろうか。戦後70年の日中関係を振り返り、両国間の様々な問題点の検討を通じて、日中関係のゆくえを考える。 日 時 5月9日(土) 15:00~17:00 場 所 広島大学東千田キャンパス共用講義室 参加費 無料 定 員 80名 問合先 広島県華僑華人総会(盧 濤) 電 話 (070)5673-7888 メール hoca@hotmail.co.jp

サミット加盟団体だより 東広島市国際化推進協議会

東広島市国際化推進協議会は、東広島市の国際化を進めるため、1987年（昭和62年）12月に設立された団体で、外国籍市民の生活支援や市民の国際理解・交流の推進など様々な事業を行っています。
現在、教育機関・民間団体・企業・行政機関・個人の合計29会員で構成しています。

■国際交流ボランティア事業

国際交流イベントの手伝いや外国人に日本語や日本文化を教えるボランティアを登録しています。また、ボランティアに登録している方やボランティアの日本語指導に興味がある方を対象として研修会を開催しています。



■多言語広報サービス

市の広報紙から外国人の生活に必要な情報を抜粋・翻訳し、外国人市民に配布するとともに、その内容の一部や関連情報を希望者にメール配信しています。



■日本語学習支援

◆「にほんごきょうしつ東広島」

日本語教師が受講者のレベルに応じたカリキュラムに沿って授業を行っています。

◆「One-to-Oneにほんご」

ボランティアと外国人が1対1で日本語で会話することにより、外国人の日本語習熟度を高め同時に相互の国際理解を深めています。

◆「にほんごわいわい」

ボランティアとのおしゃべりを通して学習者の日本語習得をサポートしています。



■国際交流事業

◆新年交流会・文化講座

もちつき、華道、着物の着付けなど日本伝統の文化体験を通じた交流のほか、スポーツ交流や西条酒蔵見学ツアーなども開催しています。



◆日本語スピーチコンテスト

外国人市民が日本の文化や生活の中で感じたことについて、日本語スピーチを披露しています。



◆「東広島ブラジルフェスタ」

【ひろしま国際交流サミット地域分科会助成金事業】

市内に多くのブラジル籍の人が住み、またブラジルのマリリア市と親善都市提携を結んでいることにちなんでイベントを開催しました。（H26単年度事業）



◆盆おどりへの参加

国際交流ボランティアと一緒に外国人市民が地域の盆踊り大会へ参加しています。

お問い合わせ先 東広島市国際化推進協議会

（事務局：東広島市企画振興部企画課内）〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0917 FAX: 082-422-1056
MAIL: hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

く・ふうに
満ちてる
東広島

Hello Hiroshima

*Japanese Taiko is Irodori*¹

和太鼓は彩

By Trevor Swan

I know that there are countless examples of people coming to Japan and trying traditional Japanese culture. I also know how easy it is not to. After over a year of living in Japan, almost nothing I had learned was very traditional. However, after a talk with my supervisor this past Summer I mentioned my interest in learning taiko and I asked if he knew of any information related to it. His reply was basically, “you know enough Japanese to look it up online yourself”... He had a good point.

So, after procrastinating for an appropriate amount of time, I looked it up using Google Sensei. I saw listings of classes offered in the city and eventually learned about a really cool website called Living Culture² (リビング・カルチャー) and through it that there were numerous classes offered at locations around town. I checked and was pleasantly surprised to find out that they did in fact have taiko lessons. I signed up for the sukkiri wadaiko classes, received an email, and started taking classes last September.

After the first class I felt pretty refreshed.³ And so I began my long journey learning the way of the taiko. This journey eventually led me to do a taiko performance at the Higashikumin Cultural Center (東区民文化センター) on a rainy Sunday afternoon. Out of my class of ten, only three of us had volunteered. We prepared for this performance by joined in practice with one of our instructor's taiko groups. And while our sensei was a bit stricter than in the “living” classes, we still had a great time—as it was combined with the antics of the children's taiko lessons.

After changing into our costumes and watching his amazing main group (all female), we went onto the stage. We then performed alongside with his other group as well as the previously mentioned kids.⁴ I didn't even have to worry about messing up, because I was too busy helping the kid next to me keep up with the performance. After the curtain was lowered and we settled down—I made a decision. The questionable decision to join the group we just performed with. We are currently practicing for a number of upcoming performances, including one for the Flower Festival.



¹ If a man is dandori and woman is yokodori (An... interesting saying), then for me taiko is irodori the name of the group I just joined.

² (livinghirosima.com) Last I checked it was all in Japanese but it is definitely worth checking out.

³ What's not to like about hitting huge drums with equally huge sticks for two hours.

⁴ Some very genki boys of varying ages from kindergarten to elementary school

Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
<u>April</u>	Cherry blossoms will be in full bloom and you can enjoy participating in the hanami that will be held all over the prefecture.	
29	<u>The Kure Port Festival</u> There will be various events—such as a parade of 3,000 people and various stage performances.	Kure
<u>May</u>	During golden week there will be events held all over a lush, green Hiroshima.	
1~17	<u>Tomonoura sea bream fishing</u>	Sensui-jima, Fukuyama
2~3	<u>The Onomichi Port Festival</u> Many activities for you to enjoy, and other than the original dance, “eh~jyan SANSA・gari” and stall vendors, there will be sightseeing boats and a festival.	Onomichi
3~5	<u>The Hiroshima Flower Festival</u> The largest event in Hiroshima; overflowing with flowers, greenery and music. Parade and stage performances and exciting Yosakoi dancing.	Peace Boulevard Area, Hiroshima City
16~17	<u>The Fukuyama Rose Festival</u> A time when Fukuyama overflows with roses. There will be a plethora of fun events—including a parade and rose contest.	Fukuyama
<u>June</u>	A season of rain. It's a good time to take a visit to enjoy the hydrangeas and irises and the rain.	
5~7	<u>The Toukasan Yukata Festival</u> A reminder of the early summer season, it is said it is the time when people begin to wear Yukata.	Toukasan Temple, Hiroshima City

Note from the Editor:

As you probably already know, this season is one of the best times to be in Hiroshima.

Hiroshima's landscape blushing with the light pink of the cherry blossoms in full bloom,

You can watch amazing performances and enjoy the delicious food stalls, not to mention the great spring festivals,

Tens of thousands gather from all over the country and world to enjoy the amazing flower festival,

This season is truly a time for making wonderful memories. Don't miss a chance to participate in these amazing events!

As usual, feel free to send an email to hic05@hiroshima-ic.or.jp if you have any questions, comments, input (or just want to say hi) and I will try to get back to you in a day or two.

HIC交流部 からの お知らせ

お問い合わせは下の連絡先まで

英語が話せなくても、資格がなくても大丈夫

ワンペア日本語学習支援で国際交流してみませんか？

HICでは、ワンペア日本語学習支援（以下、ワンペアという）のボランティアを募集しています。ワンペアとは、「もっと日本語を学びたい」と思っている外国人とペアになり、日本語を教えながら楽しく交流していくボランティアです。

専門の資格や英会話能力などは必要なく、1週間に1回程度、HICの交流スペースで外国人の学習者と会い、学習を支援します。といっても堅苦しいものではありません。たとえば、好きなテレビ番組について話をしたり、お互いの国の家庭料理を教え合ったり、そんなやり取りの中で外国人は「生きた日本語」を学んでいきます。

現在、若い方からシニアまで、男女問わず多くの方にボランティアとして活動していただいています。

あなたもワンペアで国際交流を始めてみませんか？ 皆さまのご参加をお待ちしております。

広島ひろしま国際センター
HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階

Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL: (082)541-3777 FAX: (082)243-2001

URL <http://hiroshima-ic.or.jp/>

E-mail: hic@hiroshima-ic.or.jp

